

指定管理者評価シート〔自己点検・所管課モニタリング用〕（令和4年度実績）

施設概要

施設名称	板橋区立仲町ふれあい館	所在地	東京都板橋区仲町20-5
所管課名	長寿社会推進課	指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日
指定管理者名	社会福祉法人奉優会	指定管理者の所在地	東京都世田谷区駒沢1-4-15真井ビル
設置目的	老人福祉法(昭和38年法律第133号)及び関係法令に基づく老人福祉センターとして設置し、自らの創意工夫を活かし、区内に居住する60歳以上の高齢者に対するサービス向上を図ることにより、区民福祉の一層の推進を目的とする。		
基本理念	①高齢者の各種相談に応じ、必要によって地域包括支援センター等他の区機関と連携した、複合的高齢者支援体制の構築を目指す。 ②健康の増進や、教養の向上に資する各種事業の充実を図り、高齢者の介護予防に資する。 ③各種事業の展開を通じて、高齢者の社会参加の促進に寄与する。 ①から③のサービスを総合的に供与し、その効果及び効率を向上させることによって、区内の高齢者が健康で明るい生活と生きがいを得られるような総合的支援を行う。		
行動規範	・老人福祉法(昭和38年法律第133号)並びに東京都板橋区立ふれあい館条例及び同条例施行規則などの関係法令やマニュアル等を遵守する。 ・公平で、公正なサービス提供を図る。 ・利用者の増加を目指し、なお一層の高齢者区民サービスの質的向上を実現する。		
業務内容	(1)老人福祉法に定める老人福祉センター(A型)業務 (2)ふれあい館の運営及び管理に関する業務 (3)ふれあい館の施設及び、備品の維持管理業務 (4)ふれあい館の建物躯体、外構設備、その他設備等の維持、保全、管理等に関する業務		

評価項目	事業の目標と具体的な取組		一次評価（指定管理者による自己点検）					二次評価（所管課による評価）				
			実施結果やサービス水準の増減理由など					評価点	評価理由	評価点		
経営方針に基づく具体的な行動												
基本理念の達成に向けて、経営方針に基づく具体的な目標や取組、サービス水準を設定し、業務に取り組んでいるか	①	基本理念	具体的な目標	サービス水準	目標値・実績値（経過）					評価点	評価理由	評価点
					令和3	令和4	令和5					
		高齢者の健康増進	各種相談件数	目標	80件以上	100件以上	120件以上			5 / 5	利用者に寄り添った相談体制を構築し、利用者からの要望に込えていることは評価できる。令和5年度についても目標値に関わらず、相談件数の実績を伸ばすように努めること。	5 / 5
				実績	2,259件	2,541件						
				増減理由	月・水曜日以外の入浴実施日に、看護師による健康相談を実施。血圧測定、日常的な健康に関する悩み事に対応している。来館者でご自身の認知能力や物忘れに不安を抱える方がいた場合、包括への相談等を提案する生活相談も適宜行っている。							
	複合的高齢者支援体制の構築	併設施設・関係機関との連携回数	目標	2回以上	3回以上	4回以上			5 / 5	併設施設の地域包括支援センターや高齢者在宅サービスセンターと運営母体と同じである利点を前年度以上に上手く活かしている。高齢者のボランティア活動を支援することで、さらなる社会参加に繋げている点は評価できる。	5 / 5	
			実績	24回	43回							
			増減理由	今年度、包括とは新たに21名の利用者に関する連絡を取り合った。認知症らしき方、日常生活に変化がみられる方（服装、匂い等）など事柄は様々。ふれあい館の利用状況を包括担当者と共有することで、一人の高齢者を地域ぐるみで見守り、住み慣れた場所での生活を続けてもらうことに役立っていると実感する。必要なサービスを受けられていない高齢者が来館した時には、本人の意向を確認の上包括に繋げている。高齢者の住所によって担当包括が違うため、仲町以外の包括が担当の場合は電話にて連絡を取っている。所内で「見守りファイル」を作成、記録している。包括以外では、いたばし総合ボランティアセンターとの連携を強化しており、特に高齢者のボランティア活動希望者に活動場所を提供することで、自身の健康維持・社会参加の場に役立てていただいている。その他、地域関係機関等とも協力体制を構築することで、高齢者を幅広い視点から支援できるように、体制整備を進めている。								
	②	健康の増進や教養の向上	多種多様な事業の開催	目標	37種以上	40種以上	45種以上			5 / 5	アンケート内容を基に幅広い内容の事業を実施していることは評価できる。また、区民の健康寿命延伸に繋がる講座を実施したことは高く評価できる。今後はさらなる元気高齢者創出に尽力していただきたい。	5 / 5
実績				61種	92種							
増減理由				初年度に続き、多様な事業を開催することは高齢者の集客となり、フレイル予防・地域活動や社会参加の機会になっている。事業終了後に実施する「事業満足度アンケート（当法人様式）」や直接口頭にて参加者の意見を確認し、講座内容の改善・新規講座企画に役立っている。アンケート結果は講師と共有しており、より質の高い事業開催に努めている。R4年度は、新規企画として「イタバ2」をスタートさせることができた。板橋区版AIPで掲げているよう、区民の健康寿命延伸のために幅広い角度から高齢者の健康観を挙げられるように企画した。初回は所管課にもご協力いただき、「いたばし健康プラン21」の説明の機会を設けることができた。今後も地域を巻き込んだ「イタバ2」を開催していく。館全体としては、高齢者が持つ多様なニーズに応えられるように事業企画を実施していく。特に、団塊世代が後期高齢者に突入する2025年を目前に迎えるため、より活発に活動ができるよう、自主活動推進・オンライン活用・eスポーツ等を積極的に展開していく。								
効果的な介護予防事業の実施		介護予防事業の効果測定実施回数（SF-8、体力測定、ファイブコグテスト）	目標	2事業	3事業	4事業			5 / 5	運動系に限らず文化系講座の中でも効果測定を行い、フレイル予防を行っている点は評価できる。高齢者が閉じこもりによって自身の健康を害する事例が増えているため、定期的の実施していただきたい。	5 / 5	
			実績	2事業	4事業							
			増減理由	「筋トレ男子！」・「仲町アロマヨガ」・「座敷deうんどう」の4事業にて、事前事後に体力測定とSF-8を実施し、参加者の事業参加における効果測定を実施した。「アニオンハセヨ韓国語」では、事前事後にSF-8とファイブコグテストを実施し、5つの脳の機能の状態を知り、日常生活に役立てることができるよう詳細説明を実施。定期的に自身の体力や認知機能の状態を数値で確認できることはふれあい館来館や事業参加の意欲となる。継続参加をすることで介護予防・認知症予防・フレイル予防に繋げている。								

評価項目	事業の目標と具体的な取組		一次評価（指定管理者による自己点検）					二次評価（所管課による評価）			
			実施結果やサービス水準の増減理由など					評価点	評価理由	評価点	
③	社会活動参加促進	ボランティア活動者数	目標	5人以上	8人以上	11人以上			5 / 5	様々なボランティア活動を実施し、活動者の経験や技能を活かすことでやりがい創出が出来ることは評価できる。 今後も継続実施していただきたい。	5 / 5
			実績	5人	236人						
			増減理由	運営二年目となり、職員と利用者の良好な関係性が構築できてきた。初年度は開催する事業を充実させることで館に出向いてもらい、二年目は利用者が活動的な取り組みができるよう、仕掛けをした。その一つが、ボランティア活動である。初年度からボランティア募集は行っていたが、今年度は簡単にできる具体的な活動内容を提示し、活動者を募集。特に、通信折込作業は来館した時に気軽に作業ができてやりがいがあると、毎回5名以上の利用者が協力してくださっている。その他、利用者個人のご経験や特技・能力を活かして事業講師として活躍する場面を設けることができた。(R4年度新規事業：おしゃれ講座、楽らくダンスで介護予防、仲町卓球) また、いたばし総合ボランティアセンターと連携を図ることで、ボランティア活動者の紹介をしていただいた。今年度は、「もっと知りたいイギリス文化」・「ITなんでも相談室」・「ムジークカペレ音楽会」の講師・演奏者を紹介してもらい、ボランティア活動に繋げている。 【令和4年度実績内訳】 高齢者(利用者)ボランティア:182人 利用者以外のボランティア:54人							
社会活動参加促進	自主活動団体(クラブ活動)結成数	目標	1団体結成	1団体結成	1団体結成			5 / 5	自主活動クラブの発足に向けた支援を行い、無事に発足出来たことは評価できる。 また、他施設へへの出張も行うことで、館内にとどまらず館外での幅広い活動を後押ししている点も高く評価できる。	5 / 5	
		実績	0団体	1団体							
		増減理由	令和3年度から課題であった自主活動クラブ発足は、「ウクレレ教室」が令和4年10月にクラブ発足することができた。コース制事業を開催し、参加者同士の話し合いに職員が立ち会い、発足に向けた支援をした。8月と12月には館内でのイベントにて演奏発表も果たし、ふれあい館利用者の社会参加の第一歩となった。次年度は地域施設にて出張演奏を行う予定である。また、他にも事業からクラブ化しやすい講座を企画し、クラブ発足を目指し高齢者の自主活動・地域活動を促進していく。								
① ～ ③	仲町ふれあい館及び地域の活性化	総来館者数、新規登録者数	目標	前年度比103%	前年度比106%	前年度比109%			5 / 5	全館的な空調改修工事による影響があった中でも来館者及び新規登録者を令和3年度より回復させていることは評価できる。 加えて、広報誌の配布場所を増やし、認知度向上に努めている。 今後も利用者目線でより良い館運営を行っていただきたい。	5 / 5
			実績	来館者24,806人 新規登録者159人	来館者32,130名 新規登録者224名						
			増減理由	運営二年目となり、コロナ予防対策も若干緩和されてきた環境の中、来館者数・新規登録者数は昨年度よりも増加している。(来館者数129%増、新規登録者数140%)平均来場者数は前年度比70%となったが、これは9月以降の空調大規模改修工事による影響が大きい。「仲町ふれあい館」の広報誌設置個所が35か所になり、前年度から22箇所増加したことも、来館者数・新規登録者数が増加した要因である。既存利用者の継続利用に加え、新規利用者を取り込むことは、仲町地域・板橋区全体の高齢者の健康寿命延伸に寄与することにつながるため、今後も館利用者数の拡大を図っていく。							